

# 常総薬剤師会定期総会 議事録

(1) 日時:平成 25 年 6 月 23 日(日) 16:00～

会場:ピアスパーク下妻

(2) 会員数:102

(3) 定足数の確認(出席会員数:16

;委任状 73 名)

委任状を含め、会員数の 3 分の 1 以上の参加があり、常総薬剤師会会則第 21 条の規定により総会が成り立つことを確認した。

(4) 支部長挨拶:H 24 年度 3 月 27 日の臨時総会において、公益法人制度改定により茨城県薬剤師会は公益社団法人に移行したことで、本部内部組織である茨城県薬剤師会常総支部は廃止された。それに伴い、本薬剤会は常総薬剤師会と名称を改め、また規約の改定が行われた。今回は規約に規定されている定時総会であり、内容に関して、審議してもらう。

また、入会手続きの途中ではあるが、新規入会 会員名:東條先生 (ハロー薬局)を紹介した。

(5) 議決事項 議長:榎本先生(あけぼの薬局 石下店)

## 第 1 号議案

(1) 平成 24 年度事業報告

・学術委員会活動報告 境先生(あけぼの薬局 湖畔店):  
坂東、常総、下妻班において行われた 23 回の研修会・講習会・勉強会の活動を報告した。

・広報委員会活動報告 黒鳥先生(黒鳥薬局):  
本会会員及び各薬局のメーリングリスト(ML)の登録状況の報告をした。一般会員の ML 登録数は少ないのが現状で、使用用途としては、各種業務連絡、問題提起、近況報告、不動在庫の取引提示、FAX などである。また常総薬剤師会

HP 及びソーシャルネットワーキングサービスを用いた情報のデータベース化、および情報共有し周知を目的として活動を行った。

・薬局業務委員会活動報告 木村先生(あけぼの薬局 石下店):  
坂東市、常総市、下妻市、八千代町において在宅患者訪問薬剤管理指導料等についてのアンケート調査実施。61 薬局中 35 薬局より回答をえ、これらの結果に対して考察した。

① 在宅患者訪問薬剤管理指導の届出において、全国平均 75%より低い割合であった。

② 在宅患者訪問薬剤管理指導の届出を行っているが、「依頼がない」との返答。「依頼を待つ」から在宅訪問の必要性がある患者への掘り起こしが必要である。

②在宅患者訪問薬剤管理指導業務の推進に消極的か。

③在宅患者訪問薬剤管理指導業務推進の為、研修会や勉強会、他職種との懇親会が必要である。

④麻薬小売業者間譲渡許可の取得に関して、再編成が必要かもしれない。

⑤在宅受け入れ薬局マップの必要性が高まった。

ほか下妻班地域連携の会、常総市在宅医療合同学習会を行った。

・防災 境先生代弁(増田先生が本来担当):  
主に坂東市で行われた 8 回の活動を報告した。

・実務実習 竹野先生(たけの薬局):  
平成 24 年実務実習受け入れを実施。第一期 1 名、第二期 3 名、第三期なし。計 4 名の学生を常総支部で受け入れ。第一期、二期報告会や歓迎会など通して学生との顔合わせや声かけを行った。

・親睦委員会報告 竹野先生(たけの薬局):  
平成 24 年度、地域の他業種との連携を深めるための親睦会予定であったが、企画を保留。翌 25 年度 4 月 17 日に下妻班で地域連携の会を実施した。今後の親睦委員会活動費において、予算を他職種との交流を深める目的に使っていきたい。

(2)平成 24 年度収入決算報告 境先生代弁(本来、高橋先生 パルム薬局):  
概ね予算通りに使用されたものの、薬局業務委員会、親睦委員会における活動費、および雑費に残があった。

- (3)平成 24 年度会計監査報告 境先生代弁：  
常総薬剤師会定款第 39 条の規定に基づき、平成 24 年度収入決算について監査され、適正に処理した。

以上、第一号議案に関して、審議され、承認された。

## 第 2 号議案

(1)平成 24 年度常総薬剤師会事業計画案

### ・学術委員会

- 1) 会員の自己研鑽のため、各班での定例研修会を継続して行う。
- 2) 薬局業務員会と連携し、実務実習受け入れ薬局実務者同士の情報交換などを行う。

### ・広報委員会

- 1) ホームページを利用した、常総薬剤師会活動状況を PR する。
- 2) FAX 通信による、各種情報を確実に伝達する。
- 3) メールリングリスト(ML)を活用し、迅速に情報を提供する。また、会員間の情報交換として参加会員を増やす。

### ・薬局業務委員会(実務実習及び防災を含む)

- 1) 昨年度実施した在宅患者訪問薬剤管理指導などのアンケート結果を踏まえ、他職種との懇親会、研修会や勉強会の開催と企画する。
- 2) 他職種が「麻薬取扱薬局」、「無菌調剤ができる薬局」の情報を速やかに得られる「在宅受け入れ薬局マップ」の作成を行う。
- 3) 麻薬小売業者譲渡に係るグループ薬局の検討、及び土日の麻薬購入を可能にする卸売業者への働きかけを行う。
- 4) 地域市町村と連携し、防災活動を活発にする。
- 5) 薬剤師会医療保険委員による保険薬局指導状況の報告会を開催する。
- 6) 実務実習を活発に受け入れ、近隣の薬剤師会と共同し、その成果発表会や懇親会の企画を行う。

### ・親睦委員会

各種イベントを開催し、会員同士の親睦を深め、情報交換がスムーズに行えるようにする。

(2)平成 24 年度予算案

平成 24 年度予算案に関して、ほぼ例年通りであるが、大きく異なる点は、薬局業務委員会の他職種との連携を図る活動費を計上した。

た。

以上、第 2 号議案、平成 24 年度常総薬剤師会事業計画案及び予算に関して、異議・質問もなく、本議案が承認された。

### 第 3 号議案

薬剤師会に係る各委員の人選について、境会長から提案された。

・ベストライフ

坂東班 菅沼 康次 ⇒ 菅沼 真一郎  
常総班 石塚 正夫 ⇒ 続投  
下妻班 境 美智順 ⇒ 外山 仁

・薬局業務委員会

下妻班 境 美智順 ⇒ 坂東班 石塚 博己

・総務委員会

常総班 黒澤 忠雄 ⇒ 続投

・薬学生実務実習受け入れ対策委員会

下妻班 竹野 信吾 ⇒ 続投

・医療保険委員会

下妻班 竹野 信吾 ⇒ 続投

以上、第 3 号議案に関して、異議・質問もなく、本議案が承認された。

### その他

(6)茨城県薬剤師会 総会報告(評議員が不在のため、境会長より代弁)

平成 25 年 4 月よりに茨城県薬剤師会の代議員選挙が行われた。詳細な内容は各評議員に質問をしてほしい。

(7) Topics

平成 25 年 6 月 17 日放送 フジテレビ「とくダネ」報道についての内容と対応に関して。題材:院外薬局の裏側。

(9) その他連絡事項

・特になし。

議事録作成者:

---

元橋 克

(もとはし薬局ナカネ)

---

駒木根 典之

(あけぼの薬局 水海道店)